

公 開
資 料 2

第 3 9 7 回 幹 事 会
諸 報 告 事 項

令和8年2月27日

日 本 学 術 会 議

Ⅱ 諸 報 告 事 項

ページ

第 1	前回幹事会以降の経過報告	
1	会長等出席行事	2
2	委員の辞任	3
第 2	各部・各委員会等報告	
1	部会の開催とその議題	3
2	幹事会附置委員会の開催とその議題	4
3	機能別委員会の開催とその議題	4
4	分野別委員会の開催とその議題	6
5	課題別委員会の開催とその議題	1 1
6	若手アカデミーの開催とその議題	1 1
7	連絡会議の開催とその議題	1 1
8	サイエンスカフェの開催	1 1
9	記録	1 1
1 0	総合科学技術・イノベーション会議報告	1 2
1 1	慶弔	1 2
1 2	意思の表出に係る報告	1 2
1 3	意思の表出（英訳版）に係る報告	1 2
1 4	インパクト・レポート	1 3
1 5	その他	1 3

第1. 前回幹事会以降の経過報告

1 会長等出席行事

月 日	行 事 等	対 応 者
1月27日(火)	第2回日本学術会議設立委員会合	光 石 会 長 三 枝 副 会 長 磯 副 会 長 日 比 谷 副 会 長
1月27日(火)	記者会見	光 石 会 長 三 枝 副 会 長 磯 副 会 長 日 比 谷 副 会 長
1月29日(木)	駐日スウェーデン大使館主催ノーベル賞受賞者祝賀会	光 石 会 長
1月30日(金)	国際数学者会議(ICM)開催視察団との会談	日 比 谷 副 会 長
2月3日(火)	「第22回日本学術振興会賞並びに日本学士院学術奨励賞」授賞式	磯 副 会 長
2月4日(水)	第42回井上學術賞・井上研究奨励賞、第18回井上リサーチアワード贈呈式	磯 副 会 長
2月9日(月)	第8回日本オープンイノベーション大賞表彰式	光 石 会 長
2月11日(水・祝)	小野田大臣との懇談	光 石 会 長 三 枝 副 会 長 磯 副 会 長 日 比 谷 副 会 長
2月11日(水・祝)～12日(木)	持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議2025	光 石 会 長 三 枝 副 会 長 磯 副 会 長 日 比 谷 副 会 長
2月13日(金)	持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議2025 懇談会	日 比 谷 副 会 長
2月18日(水)	日本学術会議主催学術フォーラム「炭素中立社会への賢明かつ公正な移行に向けた産官学連携の実践」	三 枝 副 会 長
2月18日(水)	JNTO/MICE アンバサダープログラム審査委員会	日 比 谷 副 会 長
2月20日(金)	仏科学アカデミー副会長との会談	光 石 会 長 日 比 谷 副 会 長

注) 部会、委員会等を除く。

2 委員の辞任

なし

第2. 各部・各委員会等報告

1 部会の開催とその議題

(1) 第二部役員会 (第21回) (2月17日)

- ① 日本学術会議の法人化に関する今後の議論について
- ② 意思の表出の進捗状況について
- ③ その他

(2) 第一部拡大役員会 (第3回) (2月18日)

- ① 第27期会員の推薦方法について
- ② その他

(3) 第二部会 (第10回) (2月27日)

- ① 日本学術会議の法人化に向けた検討について
 - ・法人のガバナンス (透明性・独立性)
 - ・監事の関与
 - ・新興・分野横断分野における会員選考
 - ・外国人研究者の参画
 - ・意思の表出における事務局の関わり
 - ・その他論点
- ② その他

(4) 第三部拡大役員会 (第21回) (2月27日)

[第17回理学・工学系学協会連絡協議会]

- ① 開催の挨拶：第三部部长 沖 大幹
- ② 第三部理工系博士人材育成分科会について
- ③ 日本学術会議の法人化について
- ④ 未来の学術振興構想について
- ⑤ 日本学術会議と学協会の連携についての意見交換 (自己紹介含む)
- ⑥ その他

[第三部拡大役員会委員]

- ⑦ 第三部理工系博士人材育成分科会について
- ⑧ 法人化にむけた各分野の活動状況
- ⑨ 3月23日第三部臨時部会について
- ⑩ アクションプランの検討状況について
- ⑪ 2026年度第三部夏季部会について

- ⑫ 第三部意思の表出状況について
- ⑬ 第三部予算執行状況について
- ⑭ その他

2 幹事会附置委員会の開催とその議題

(1) 日本学術会議法人化準備委員会 (第8回) (1月28日)

- ① 法人化準備委員会方針案について
- ② その他

(2) 日本学術会議法人化準備委員会 (第9回) (2月4日)

- ① 論点整理：意思の表出について
- ② その他

(3) 外部評価対応委員会 (第3回) (2月5日)

- ① 日本学術会議の活動状況について
- ② 外部有識者との意見交換
- ③ その他

(4) 日本学術会議法人化準備委員会 自己資金検討WG (第4回) (2月12日)

- ① 前回議事要旨(案)について
- ② 自己資金獲得に関する基本方針(案)について

(5) 日本学術会議法人化準備委員会 (第10回) (2月13日)

- ① 論点整理：ガバナンスについて
- ② 法人化準備委員会方針案について

(6) 日本学術会議法人化準備委員会 日本学術会議憲章検討分科会 (第4回)
(2月17日)

- ① 前回議事要旨(案)について
- ② 日本学術会議憲章案について

(7) 日本学術会議法人化準備委員会 会員選任制度検討分科会 (第3回) (2月18日)

- ① 前回議事要旨(案)について
- ② 分科会の検討事項について
- ③ その他

3 機能別委員会の開催とその議題

(1) 国際委員会 フューチャー・アースの国際的展開対応分科会 (第6回) (2月6日)

- ① フューチャー・アースの国際動向について(報告)

- ② 令和8年度フューチャー・アースに関する国際会議等への代表者の派遣の基本方針（案）について
- ③ 令和8年度フューチャー・アースに関する国際会議等への外国人招へいの基本方針（案）について
- ④ フューチャー・アース国際事務局日本ハブに対する日本学術会議の令和8年度活動計画及び予算（案）について
- ⑤ その他

（2）国際委員会 国際会議主催等検討分科会（第10回）（2月10日）

- ① ヒアリング審査から選定までの流れについて
- ② 令和9年度共同主催国際会議ヒアリング審査・選定
- ③ 法人化後の共同主催国際会議について

（3）国際委員会 持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議2025分科会（第3回）（2月11日）

- ① 第2回分科会議事要旨（案）の確認
- ② 「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議2025」当日の流れについて
- ③ その他

（4）科学者委員会 学術研究振興分科会（第8回）、同分科会 未来の学術振興構想評価小委員会（第3回）合同会議（2月12日）

- ① 審査結果を踏まえた「学術の中長期研究戦略」の分類・掲載等の検討
- ② 今後のプロセスについて
- ③ その他

（5）国際委員会 Gサイエンス学術会議分科会（第3回）（2月13日）

- ① 第2回分科会議事要旨（案）について
- ② Gサイエンス学術会議2026共同声明案について
- ③ その他

（6）国際委員会 持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議2026分科会（第1回）（2月20日）

- ① 役員の選出について
- ② 持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議2026の開催計画について
- ③ その他

（7）国際委員会（第24回）（2月24日）

- ① 令和8年度代表派遣実施計画について
 - （1）代表派遣実施計画の決定
 - （2）実施計画に基づく4－9月期の会議派遣者の決定
- ② 国際業務に参画するための連携会員（特任）の任命の推薦について

- ③ 「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」の一部改正について
- ④ 令和9年度共同主催国際会議候補の承認について
- ⑤ 令和8年度フューチャー・アースに関する国際会議等への代表者の派遣の基本方針（案）について
- ⑥ 法人化に向けた準備について
- ⑦ その他

4 分野別委員会の開催とその議題

第一部担当

- (1) **法学委員会 リスク社会と法分科会**（第14回）（1月31日）
 - ① 意思の表出についての検討

- (2) **経営学委員会 ビジネス人材のリカレント教育に関する分科会**（第3回）（1月31日）
 - ① 公開シンポジウム開催について
 - ② ビジネス人材のリカレント教育についての実施事例報告(1事例)と意見交換
 - ③ その他

- (3) **言語・文学委員会 日本文学の伝統と現代社会分科会**（第7回）（2月1日）
 - ① シンポジウムの振り返り、意見交換
 - ② その他

- (4) **地域研究委員会 多文化共生分科会**（第10回）（2月1日）
 - ① 当日のシンポジウム打ち合わせ
 - ② 2月21日シンポジウム打ち合わせ
 - ③ 日本学術会議の最近の動向
 - ④ 今後の活動計画
 - ⑤ その他

- (5) **法学委員会 ICT社会と法分科会**（第5回）（2月1日）
 - ① 情報学委員会サイバーセキュリティ分科会との意見交換について
 - ② 今後の活動について
 - ③ その他

- (6) **法学委員会 法学研究者養成分科会**（第4回）（2月2日）
 - ① 今後の活動について
 - ② その他

- (7) **法学委員会 リスク社会と法分科会**（第15回）（2月10日）
 - ① 意思の表出について

(8) 法学委員会 (第20回) (2月19日)

- ① 法人化に向けた議論について
- ② その他

(9) 政治学委員会 民主主義の深化と退行に関する比較政治分科会 (第5回)
(2月19日)

- ① 見解「女性の政治参画を進めるための制度改革と環境整備について」の発出及び関連する今後の活動について
- ② 記録「民主主義の後退に関する検討の記録」について

(10) 心理学・教育学委員会 不登校現象と学校づくり分科会 (第6回)
(2月21日)

- ① 「記録」の作成について
- ② その他

(11) 史学委員会・哲学委員会合同 科学技術・学術の政策に関する歴史的・理論的・社会的検討分科会 (第5回) (2月26日)

- ① 日本学術会議資料について
- ② 公開シンポジウムの準備状況について
- ③ 今後の進め方について
- ④ その他

第二部担当

(1) 臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同 出生・発達分科会 (第23回)
(1月29日)

- ① 見解案の進捗状況
- ② 公開シンポジウムの内容
- ③ その他

(2) 基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 遺伝学分科会 (第6回)
(1月30日)

- ① 「報告」の内容について、
- ② 2026年度中に開催するシンポジウムについて
- ③ その他

(3) 統合生物学委員会・基礎生物学委員会合同 自然人類学分科会 (第5回)
(2月1日)

- ① 2026年2月1日開催予定の公開シンポジウムの打合せ
- ② 人類学・人間科学学会連合の構想について
- ③ その他

(4) **健康・生活科学委員会** ヘルスケア人材共創に向けた看護学分科会 (第8回)
(2月1日)

- ① 幹事会からの報告
- ② 見解について
- ③ B班の公開シンポジウムについて
- ④ C班の公開シンポジウムについて
- ⑤ その他

(5) **食料科学委員会** 畜産学分科会 (第8回) (2月5日)

- ① 第27期に向けた意思の表出の準備 (継続審議)
- ② 公開シンポジウムの企画、進捗など
- ③ その他
 - ・ 第27期の体制など (報告ほか)

(6) **食料科学委員会** 水産学分科会 (第7回) (2月6日)

- ① 2025年度公開シンポジウムについて
- ② 今後の活動について
 - ・ 2026年度公開シンポジウム
 - ・ 他の分科会等との連携
- ③ 報告
- ④ その他

(7) **農学委員会** 林学分科会 (第5回) (2月17日)

- ① 次回シンポジウムについて
- ② 学術会議の昨今の状況について
- ③ その他

(8) **農学委員会** 植物保護科学分科会 (第9回) (2月19日)

- ① 土壌科学分科会とのシンポジウムの共催について
- ② 学術会議報告 (学術会議の会員、連携会員の選定に関する動向)
- ③ その他

第三部担当

(1) **電気電子工学委員会** デバイス・電子機器工学分科会 (第6回) (1月28日)

- ① デバイス・電子機器工学分科会主催シンポジウム案について
- ② その他

(2) **土木工学・建築学委員会** 気候変動と国土の未来分科会 (第9回) (1月30日)

- ① 話題提供 (田井 明委員、有働 恵子委員)
- ② 学術フォーラム (令和8年5月29日開催)

「気候変動と社会変化を迎える今、国土の未来をどう考えるか（豪雨災害からの安全と豊かな暮らしを実現するために）」の開催について

・フォーラムの内容と役割分担、準備に向けた議論

③ その他

(3) 化学委員会 無機化学分科会 (第6回) (1月31日)

① 開催趣旨説明

② AI及びロボティクスを加味したマテリアル融合の分子科学・材料科学の知見や現状あるいは展開に関わる意見交換

③ 公開シンポジウムに関わる連絡事項

④ その他

(4) 土木工学・建築学委員会・環境学委員会合同 カーボンニュートラル都市分科会 (第9回) (2月12日)

① 森口 祐一委員からの話題提供

提言「気候危機に対処するための産官学民の総力の結集ー循環経済を活かし自然再興と調和する炭素中立社会への転換ー」について

② その他

(5) 数理科学委員会 数理統計学分科会 (第3回) (2月17日)

① 本日(2月17日)のシンポジウムについて

② その他

(6) 土木工学・建築学委員会 デザインをめぐる知の構築と社会的理解分科会 (第10回) (2月18日)

① 意思の表出について

② シンポジウム、出版等について

③ 今後のすすめ方

④ その他

(7) 物理学委員会 物理教育分科会 (第9回) (2月20日)

① 大学主催の合宿形式による探究型天文観測実習「銀河学校」の取り組みに関するご報告と議論

② 今期取り組むべき課題について(2月に予定されているフォーラムに関して)

③ 今後のスケジュール

④ その他

(8) 数理科学委員会 数学教育分科会 (第6回) (2月21日)

① 見解案策定について

② 日本学術会議学術フォーラム

③ 日本学術会議学術フォーラムを踏まえての見解案策定について

④ その他

(9) 地球惑星科学委員会 IUGS 分科会 (第8回) (2月24日)

- ① IUGS EC 会議の報告と対応
- ② 地学雑誌記事への対応
- ③ 来年度の活動方針
- ④ その他

(10) 化学委員会 (第18回)、化学委員会 化学企画分科会 (第9回) 合同会議
(2月24日)

- ① 第27期会員選考について
- ② 今後の活動について
- ③ その他

(11) 電気電子工学委員会 制御・パワー工学分科会 (第6回) (2月24日)

- ① 話題提供 (佐藤 育子委員)
- ② 公開シンポジウムについて
- ③ その他

(12) 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会 (第6回)
(2月25日)

- ① 委員の追加について
- ② 小委員会の活動報告
- ③ 小委員会未設置の Core Projects、GRNs の活動報告
- ④ Future Earth 全体、WCRP 全体の活動報告
- ⑤ 学術フォーラム開催報告について
- ⑥ 報告「フューチャー・アースの推進と連携：Future Earth Japan Report 2026 へ向けた学術的課題の個別・横断的な整理 (仮題)」について
- ⑦ 第5回 Future Earth 日本サミットについて
- ⑧ その他、報告事項等

(13) 数理科学委員会 数学教育分科会 (第7回) (2月25日)

- ① 見解の準備状況について
- ② 加藤 文元先生のお話
- ③ 質疑応答
- ④ 見解の最終版に向けて

(14) 環境学委員会 環境思想・環境教育分科会 (第13回) (2月26日)

- ① 第26期分科会成果取りまとめの検討
- ② その他

5 課題別委員会の開催とその議題

- (1) 我が国の学術の発展・研究力強化に関する検討委員会 (第13回) (2月10日)
- ① 第7期科学技術・イノベーション基本計画案へのパブリックコメント対応について
- (2) 循環経済を活かし自然再興と調和する炭素中立社会への移行に関する検討委員会 (第18回) (2月18日)
- ① 提言公表後の経過報告
- ② 学術フォーラムの開催について
- ③ 広報用チラシ及び要旨の英訳の作成について
- ④ 今後のフォローアップ活動について

6 若手アカデミーの開催とその議題

- (1) 若手アカデミー 学術の未来を担う人材育成分科会 (第2回) (1月29日)
- ① 1月28日の当分科会主催のシンポジウム「知の創造を支える人財とは何か? ~AI for Scienceと研究基盤に焦点を当てて~」についての報告
- ② 今後の活動について
- ③ その他

7 連絡会議の開催とその議題

なし

8 サイエンスカフェの開催

なし

9 記録

文書番号	SCJ第26期-080227-26030200-096
委員会等名	第三部理工学ジェンダー・ダイバーシティ分科会
表題	Gender Summit フォローアップのためのロードマップ策定ワークショップ 実施報告書
作成日	令和8年(2026年)2月27日

10 総合科学技術・イノベーション会議報告

1. 本会議

2月25日(水) 本会議 (第82回) 持ち回り開催

2. 専門調査会

1月28日(水)～1月30日(金) 基本計画専門調査会 (第12回) 持ち回り開催

2月9日(月) 評価専門調査会 (第158回) (光石会長オンライン出席)

3. 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員会合

2月5日(木)

2月12日(木)

2月19日(木) (光石会長欠席)

2月26日(木)

11 慶弔

なし

12 意思の表出に係る報告 (別冊参照)

○報告

(1) 歯学委員会、歯学委員会基礎系歯学分科会、同委員会病態系歯学分科会、同委員会臨床系歯学分科会

「歯学分野の研究力の推移、及び歯学領域が抱える課題」

(令和8年2月12日公表)

(2) 地域研究委員会縮小社会の地域構想分科会

「縮小社会を前提とした持続可能な国土・地域を構想するために」

(令和8年2月20日公表)

(3) 臨床医学委員会臨床ゲノム医学分科会

「DNA親子鑑定の実用化がもたらす家族間の揺らぎと法的・社会的課題」

(令和8年2月24日公表)

13 意思の表出 (英訳版) に係る報告 (別冊参照)

(1) 科学者委員会ジェンダー・エクイティ分科会、第6次男女共同参画基本計画小分科会、第一部総合ジェンダー分科会、第二部生命科学ジェンダー・ダイバーシティ分科会、第三部理工学ジェンダー・ダイバーシティ分科会

(日本語提言：2025年10月27日公表)

提言「社会と学术界におけるジェンダー平等・公正の実現を目指して
－2030年に向けた課題－」（要旨）

Recommendation

「Toward Gender Equality and Equity in Society and Academia: Challenges for
2030」

14 インパクト・レポート

なし

15 その他

- (1) 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局が募集していた「第7期科学技術・イノベーション基本計画」の答申素案に関する意見募集（パブリック・コメント）について、我が国の学術の発展・研究力強化に関する検討委員会から意見を提出（令和8年2月20日）

2026年2月20日

「第7期科学技術・イノベーション基本計画」の答申素案に関する意見募集に対する
意見の提出について

日本学術会議 我が国の学術の発展・研究力強化に関する検討委員会は、2026年2月18日に、「第7期科学技術・イノベーション基本計画」の答申素案に関する意見募集に対し、別紙の意見を提出いたしました。

<参考>

- ・日本学術会議 我が国の学術の発展・研究力強化に関する検討委員会
<https://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/kenkyuryoku/index.html> (日本学術会議 HP)
- ・「第7期科学技術・イノベーション基本計画」の答申素案に関する意見募集について
<https://www8.cao.go.jp/cstp/stmain/20260205sti.html> (内閣府 HP)

p.18 の 19 行目 第 2 章知の基盤としての「科学の再興」

この段落では人材の確保や雇用環境の重要性を述べながら、結論が基盤的研究費の確保に収斂しており、論理的不整合が見られる。この後の構成も冒頭の 1 節・2 節は研究活動に関する論点であり、その実現のためには、優れた人材を研究者として安定的に確保することが最大の構造的課題であるという研究現場での問題意識が反映されていない。「そのためにも」以降は、「そのため、研究者が長期的に研究に専念できる安定的な雇用環境や、産業界と比しても適切な処遇水準を確保することが不可欠である。アカデミックキャリアパスの不透明さを払拭し、厳正な評価の下で努力を積み重ねれば安定した職を得られるという予見可能性を高めることにより、研究職が長期的に人生を賭して目指すに値する職業として再構築される必要がある。」などの問題意識を明確にした文章を追記していただきたい。また、別紙指標にも無期雇用若手教員数などを追加していただきたい。

p.23 の 26 行目 第 2 章 3.多様な場で活躍する科学技術人材の継続的な輩出

当該箇所は初等中等段階の次世代科学技術人材育成に言及しているが、長期的な人材育成エコシステムの観点からは、博士課程修了者のノンアカデミックキャリアの重要な進路の一つとして STEAM 教員を明示的に位置付けることが重要である。当該箇所に、「加えて、博士人材のノンアカデミックキャリアの一つとして初等中等教育段階の STEAM 教員を明確に位置付け、産学官連携や科学技術コミュニケーション、国際交流の知見も活用しつつ、高度な専門性を有する教員が次世代の科学技術人材育成を担うことで、持続的な人材育成エコシステムを形成する。」旨の追記を検討いただきたい。

p.30 の 22 行目 第 2 章 6. 基盤的経費の確保と大学改革の一体的推進等

p.30、p.63、ならびに指標において、国際卓越研究大学や J-PEAKS 等の研究大学については研究時間の確保等が明示されている。一方、人文・社会科学を含めて多くの分野において、少数の研究大学以外でも広く研究活動が行われており、若手研究者の初期キャリアが地方大学からまず形成され、研究大学へと移っていくケースがしばしばみられる。大学単位での機能分化が研究者個人の研究活動やキャリア形成に過度に影響すれば、国単位で人材育成のエコシステムが弱体化するおそれがある。当該箇所には、「研究大学以外の大学についても、研究大学との連携や産官学連携をも基礎としつつ、教員が萌芽的・新興研究を継続的に展開する環境を確保する。これにより、競争的な人材流動性を高め、国全体としてサステナブルな人材エコシステムを構築する。」旨を追記することを検討いただきたい。

p.63 の 28 行目 第 7 章 2. 基盤的経費の確保と研究大学におけるマネジメント改革

統計結果に基づき p.8 では研究時間の制約が教育活動の負担によって生じていることを述べている。しかし、この節や p.19、p.29 では、研究費の申請書作成負担や大学内会議のみ

が記載されており不整合であり、これでは研究時間の確保は難しいと思われる。当該箇所に「教育活動のDX化や教育支援の専門人材の確保を通じた教育活動の効率化」を追記いただきたい。

p.64 の 9 行目 第 7 章 2. 基盤的経費の確保と研究大学におけるマネジメント改革

科学の再興を掲げる本計画案において、大学の基盤的経費の重要性が明確に位置づけられている点については賛同する。重要性の観点からは、第 2 章や第 7 章において、より上位の節番号に配置することが望ましいと考える。一方で、当該部分にある「物価・人件費の上昇等を踏まえつつ、基礎研究の充実等を行うため、大幅な拡充を図る」との記述は、拡充の趣旨が物価上昇等への対応にとどまる、あるいは基礎研究活動に限定されるかのような印象を与えかねない。しかし、基盤的経費は人材雇用を含めて研究基盤全体の整備や研究環境の高度化に寄与するものである。また、本提言が日本の研究力の回復を目指すものであることを踏まえれば、例えば、「物価・人件費の上昇等を踏まえつつ、さらに世界と伍する研究環境を実現するため、大幅な拡充を図る」といった表現への修正も検討願いたい。

p.65 第 7 章 3. CSTI の司令塔機能の強化

Top10%補正論文数の指標をあげることで政府による研究開発投資の拡充が期待される一方で、この指標が大学等の評価指標としても用いられるようになると、海外研究者と形式的な連携をして論文を作成するなどの計略的な対応を誘引して、実質的に国内の研究力が上がらない状況が発生することが危惧される。P.15 には「基本計画のフォローアップを実施する」としていることから、CSTI の機能強化に基本計画のフォローアップを行うことを機能として加え、その中で日本の研究力を見かけの数字ではなく多面的に把握して、政策効果を把握することを追記することを検討願いたい。

p.66 別紙 第 7 期科学技術・イノベーション基本計画指標と目標について

指標がいくつか提案されているが、大学等の研究力に関する指標と、大学の知が産業の発展につながっていることを示す指標が追加されるとよい。たとえば、大学発特許の実施件数や率などの指標の追加を検討願いたい。